



ロボット支援手術（ダ・ヴィンチ手術）で 保険診療が適用される手術が拡大しました

滋賀医科大学医学部附属病院（大津市瀬田月輪町）では、平成25年3月に滋賀県内で初めて手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ（da Vinci）」を導入し、同年5月から手術を開始しました。

これまで、この手術で保険診療が適用されていたのは、「前立腺がん全摘出術」だけでしたが、平成28年4月からは、「腎がんに対する腎部分切除術」にも適用されて、患者様にとって朗報かと存じます。

今回、今後も適用症例の拡大が期待されることから、ダ・ヴィンチ手術のメリットや、本学における現況、展望についてご紹介したいと存じますので、以下の日時・場所にご来学いただければ幸いです。

○日時：平成28年4月20日（水）13時30分～

○場所：滋賀医科大学管理棟 大会議室

※別添、会場案内；当日、建物前に駐車場をご用意します。

○説明者

滋賀医科大学医学部附属病院長

松末 吉隆（まつすえ よしたか）

滋賀医科大学医学部 泌尿器科学講座

教授

河内 明宏（かわうち あきひろ）

《プレスリリース発信元》

滋賀医科大学 企画課（担当：叶・奥村）

TEL：077-548-2012

e-mail：hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

「ロボット支援手術（ダ・ヴィンチ手術）で
保険診療が適用される手術が拡大しました」の説明

○日時：平成28年4月20日（水） 13：30から

○場所：滋賀医科大学 管理棟3階 大会議室（下記マル12の建物）
※建物前に駐車場をご用意いたします。

○キャンパス内案内

